

## 別添書類第 5 号 添付資料

### 1. 頂面荷重

頂面荷重は、平成 13 年国土交通省告示（以下、「告示」という。）第 292 号の定めるところにより、通常の建築物の建築により作用する荷重、土圧及び水圧をそれぞれ合計する。

#### 1.1 通常の建築物の建築により作用する荷重

通常の建築物の建築により作用する荷重は、大深度地下の公共的使用に関する特別措置法施行令（平成 12 年政令第 500 号）（以下、「施行令」という。）第 5 条第 2 項及び告示第 295 号に定める荷重とする。

建築が想定される最大の荷重の建築物は、施行令第 5 条第 2 項の定めるところにより、その建築により地表から 25 メートルの深さまで排土するものとした場合において増加荷重が 1 m<sup>2</sup>当たり 300 キロニュートンとなる建築物とする。

ただし、施行令第 5 条第 2 項及び告示第 293 号の定めるところにより、都市計画法第 8 条第 1 項第 1 号の第一種低層住居専用地域又は第二種低層住居専用地域内の区域及び都市計画法第 8 条第 1 項第 3 号の高度地区のうち、建築物の高さの最高限度が定められている区域、法令の規定により建築物の高さその他建築することができる建築物の荷重に影響を及ぼす制限がある区域では、建築が想定される最大の荷重の建築物は、告示第 294 号に定める荷重の建築物とする。

区域及び建築物の高さの最高限度に基づき、下表の荷重を建築が想定される最大の荷重の建築物の荷重とし、告示第 295 号に定める方法により、通常の建築物の建築により作用する荷重を算出する。

区域	建築物の高さの最高限度	建築が想定される最大の荷重の建築物の荷重
第一種低層住居専用地域及び第二種低層住居専用地域内の区域を除く区域	制限なし又は 31m 超	約 700kN/m <sup>2</sup>
	20～31m	444kN/m <sup>2</sup>
	20m 以下	372kN/m <sup>2</sup>
第一種低層住居専用地域又は第二種低層住居専用地域内の区域	10m	72kN/m <sup>2</sup>

#### 1.2 土圧

土圧は、告示第 292 号の第三の定めるところにより算出する。

#### 1.3 水圧

水圧は、告示第 292 号の第四の定めるところにより算出する。

水圧の算定に用いる地下水位には変動があるため、設計水位は高水位及び低水位の両

者を検討する。高水位は地表面高を基本とするが、ボーリング調査により地表面高以上の被圧地下水を確認した地点は被圧地下水位とする。低水位は観測井における地下水位の観測結果及びボーリング調査における湧水圧試験により設定する。

## 2. 耐力確認断面の特定（RC セグメント・合成セグメント）

区間①～⑨のそれぞれで、以下の考え方により耐力確認断面を特定した。

### 2.1 首都圏

#### 2.1.1 区間①（品川区北品川三丁目～等々力非常口間）

本区間で採用するセグメントは全て RC セグメントであり、厚さは 500mm、550mm、600mm の 3 種類である。

3 種類の厚さのセグメントを採用する割付区間のそれぞれで、頂面荷重と地盤反力係数の組み合わせにより耐力確認断面を特定した。

なお、本区間は水圧が大きく地盤反力係数も比較的大きいことから、曲げモーメントが大きくなる場合には該当せず、軸力が大きくなる高水位の場合において耐力確認断面を特定した。

- ・セグメント厚 600mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面①-1）
- ・セグメント厚 600mm を採用する割付区間で、断面①-1 断面よりも地盤反力係数が小さく、かつ頂面荷重最大の断面を選定する（断面①-3）
- ・セグメント厚 600mm を採用する割付区間で、断面①-3 断面よりも地盤反力係数が小さく、かつ頂面荷重最大の断面を選定する（断面①-5）
- ・セグメント厚 550mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面①-4）
- ・セグメント厚 500mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面①-2）

特定した耐力確認断面を表 5.1 に示す。

表 5.1 区間①における耐力確認断面

区間	断面番号	トンネル 外径	セグメント		地盤反力 係数	頂面荷重
			種類	厚さ		
①	断面①-1	13.8m	RC	600mm	約 164MN/m <sup>3</sup>	約 1163kN/m <sup>2</sup>
	断面①-2		RC	500mm	約 100MN/m <sup>3</sup>	約 915kN/m <sup>2</sup>
	断面①-3		RC	600mm	約 100MN/m <sup>3</sup>	約 1109kN/m <sup>2</sup>
	断面①-4		RC	550mm	約 100MN/m <sup>3</sup>	約 1035kN/m <sup>2</sup>
	断面①-5		RC	600mm	約 79MN/m <sup>3</sup>	約 1031kN/m <sup>2</sup>

### 2.1.2 区間②（等々力非常口～梶ヶ谷非常口間）

本区間で採用するセグメントは全て RC セグメントであり、厚さは 500mm、550mm の 2 種類である。

2 種類の厚さのセグメントを採用する割付区間のそれぞれで、頂面荷重と地盤反力係数の組み合わせにより必要な耐力が最も大きくなる断面を特定した。

なお、本区間は水圧が大きく地盤反力係数も比較的大きいことから、曲げモーメントが大きくなる場合には該当せず、軸力が大きくなる高水位の場合において耐力確認断面を特定した。

- ・セグメント厚 550mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面②-2）
- ・セグメント厚 500mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面②-1）

特定した断面を表 5.2 に示す。

表 5.2 区間②における耐力確認断面

区間	断面番号	トンネル 外径	セグメント		地盤反力 係数	頂面荷重
			種類	厚さ		
②	断面②-1	13.7m	RC	500mm	約 79MN/m <sup>3</sup>	約 892kN/m <sup>2</sup>
	断面②-2		RC	550mm	約 250MN/m <sup>3</sup>	約 1026kN/m <sup>2</sup>

### 2.1.3 区間③（梶ヶ谷非常口～東百合丘非常口間）

本区間で採用するセグメントは、厚さ 500mm、550mm の RC セグメントと厚さ 500mm の合成セグメントの 3 種類である。

3 種類のセグメントを採用する割付区間のそれぞれで、頂面荷重と地盤反力係数の組み合わせにより必要な耐力が最も大きくなる断面を特定した。

なお、本区間は水圧が大きく地盤反力係数も比較的大きいことから、曲げモーメントが大きくなる場合には該当せず、軸力が大きくなる高水位の場合において耐力確認断面を特定した。

- ・セグメント厚 550mm の RC セグメントを採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面③-3）
- ・セグメント厚 550mm の RC セグメントを採用する割付区間で、断面③-3 断面よりも地盤反力係数が小さく、かつ頂面荷重最大の断面を選定する（断面③-1）
- ・セグメント厚 500mm の RC セグメントを採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面③-2）
- ・セグメント厚 500mm の合成セグメントを採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面③-4）

特定した断面を表 5.3 に示す。

表 5.3 区間③における耐力確認断面

区間	断面番号	トンネル 外径	セグメント		地盤反力 係数	頂面荷重
			種類	厚さ		
③	断面③-1	13.7m	RC	550mm	約 250MN/m <sup>3</sup>	約 985kN/m <sup>2</sup>
	断面③-2		RC	500mm	約 129MN/m <sup>3</sup>	約 894kN/m <sup>2</sup>
	断面③-3		RC	550mm	約 286MN/m <sup>3</sup>	約 1127kN/m <sup>2</sup>
	断面③-4		合成	500mm	約 285MN/m <sup>3</sup>	約 1217kN/m <sup>2</sup>

#### 2.1.4 区間④（東百合丘非常口～片平非常口間）

本区間で採用するセグメントは全て RC セグメントであり、厚さは 500mm、550mm、650mm の 3 種類である。

3 種類のセグメントを採用する割付区間のそれぞれで、頂面荷重と地盤反力係数の組み合わせにより耐力確認断面を特定した。

なお、本区間は水圧が大きく地盤反力係数も比較的大きいことから、曲げモーメントが大きくなる場合には該当せず、軸力が大きくなる高水位の場合において耐力確認断面を特定した。

- ・セグメント厚 650mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面④-1）
- ・セグメント厚 550mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面④-2）
- ・セグメント厚 500mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面④-3）

特定した耐力確認断面を表 5.4 に示す。

表 5.4 区間④における耐力確認断面

区間	断面番号	トンネル 外径	セグメント		地盤反力 係数	頂面荷重
			種類	厚さ		
④	断面④-1	13.9m	RC	650mm	約 284MN/m <sup>3</sup>	約 1216kN/m <sup>2</sup>
	断面④-2		RC	550mm	約 283MN/m <sup>3</sup>	約 1018kN/m <sup>2</sup>
	断面④-3		RC	500mm	約 208MN/m <sup>3</sup>	約 826kN/m <sup>2</sup>

#### 2.1.5 区間⑤（片平非常口～小野路非常口間）

本区間で採用するセグメントは全て RC セグメントであり、厚さは 600mm、650mm の 2 種類である。

2 種類のセグメントを採用する割付区間のそれぞれで、頂面荷重と地盤反力係数の組み合わせにより耐力確認断面を特定した。

なお、本区間は水圧が大きく地盤反力係数も比較的大きいことから、曲げモーメントが大きくなる場合には該当せず、軸力が大きくなる高水位の場合において耐力確認断面を特定した。

- ・セグメント厚 650mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑤-1）
- ・セグメント厚 650mm を採用する割付区間で、断面⑤-1 断面よりも地盤反力係数が小さく、かつ頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑤-2）
- ・セグメント厚 600mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑤-4）
- ・セグメント厚 600mm を採用する割付区間で、断面⑤-4 断面よりも地盤反力係数が小さく、かつ頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑤-3）

特定した耐力確認断面を表 5.5 に示す。

**表 5.5 区間⑤における耐力確認断面**

区間	断面番号	トンネル 外径	セグメント		地盤反力 係数	頂面荷重
			種類	厚さ		
⑤	断面⑤-1	13.9m	RC	650mm	約 484MN/m <sup>3</sup>	約 1352kN/m <sup>2</sup>
	断面⑤-2		RC	650mm	約 266MN/m <sup>3</sup>	約 1341kN/m <sup>2</sup>
	断面⑤-3		RC	600mm	約 265MN/m <sup>3</sup>	約 1149kN/m <sup>2</sup>
	断面⑤-4		RC	600mm	約 293MN/m <sup>3</sup>	約 1185kN/m <sup>2</sup>

### 2.1.6 区間⑥（小野路非常口～町田市小山町）

本区間で採用するセグメントは、厚さ 500mm、600mm、700mm の RC セグメントと厚さ 600mm の合成セグメントの 4 種類である。

4 種類のセグメントを採用する割付区間のそれぞれで、頂面荷重と地盤反力係数の組み合わせにより耐力確認断面を特定した。

なお、本区間は水圧が大きく地盤反力係数も比較的大きいことから、曲げモーメントが大きくなる場合には該当せず、軸力が大きくなる高水位の場合において耐力確認断面を特定した。

- ・セグメント厚 700mm の RC セグメントを採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑥-3）
- ・セグメント厚 600mm の RC セグメントを採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑥-6）
- ・セグメント厚 600mm の RC セグメントを採用する割付区間で、断面⑥-6 断面よりも地盤反力係数が小さく、かつ頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑥-1）
- ・セグメント厚 600mm の RC セグメントを採用する割付区間で、断面⑥-1 断面よりも地盤反力係数が小さく、かつ頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑥-7）
- ・セグメント厚 600mm の RC セグメントを採用する割付区間で、断面⑥-7 断面よりも地盤反力係数が小さく、かつ頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑥-5）
- ・セグメント厚 500mm の RC セグメントを採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑥-2）
- ・セグメント厚 600mm の合成セグメントを採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を

選定する（断面⑥-4）  
 特定した耐力確認断面を表 5.6 に示す。

**表 5.6 区間⑥における耐力確認断面**

区間	断面番号	トンネル 外径	セグメント		地盤反力 係数	頂面荷重
			種類	厚さ		
⑥	断面⑥-1	14.0m	RC	600mm	約 292MN/m <sup>3</sup>	約 1115kN/m <sup>2</sup>
	断面⑥-2		RC	500mm	約 290MN/m <sup>3</sup>	約 640kN/m <sup>2</sup>
	断面⑥-3		RC	700mm	約 151MN/m <sup>3</sup>	約 1386kN/m <sup>2</sup>
	断面⑥-4		合成	600mm	約 151MN/m <sup>3</sup>	約 1422kN/m <sup>2</sup>
	断面⑥-5		RC	600mm	約 151MN/m <sup>3</sup>	約 974kN/m <sup>2</sup>
	断面⑥-6		RC	600mm	約 333MN/m <sup>3</sup>	約 1127kN/m <sup>2</sup>
	断面⑥-7		RC	600mm	約 273MN/m <sup>3</sup>	約 1101kN/m <sup>2</sup>

## 2.2 中部圏

### 2.2.1 区間⑦（春日井市坂下町四丁目～坂下非常口間）

本区間で採用するセグメントは全て RC セグメントであり、厚さは 550mm、600mm の 2 種類である。

2 種類のセグメントを採用する割付区間のそれぞれで、頂面荷重と地盤反力係数の組み合わせにより耐力確認断面を特定した。

なお、本区間は水圧が大きく地盤反力係数も比較的大きいことから、曲げモーメントが大きくなる場合には該当せず、軸力が大きくなる高水位の場合において耐力確認断面を特定した。

- ・セグメント厚 600mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑦-2）
- ・セグメント厚 550mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑦-1）

特定した耐力確認断面を表 5.7 に示す。

**表 5.7 区間⑦における耐力確認断面**

区間	断面番号	トンネル 外径	セグメント		地盤反力 係数	頂面荷重
			種類	厚さ		
⑦	断面⑦-1	13.8m	RC	550mm	約 133MN/m <sup>3</sup>	約 991kN/m <sup>2</sup>
	断面⑦-2		RC	600mm	約 134MN/m <sup>3</sup>	約 1017kN/m <sup>2</sup>

### 2.2.2 区間⑧（坂下非常口～勝川非常口間）

本区間で採用するセグメントは全て RC セグメントであり、厚さは 650mm、700mm の 2 種類である。

2種類のセグメントを採用する割付区間のそれぞれで、頂面荷重と地盤反力係数の組み合わせにより耐力確認断面を特定した。

なお、本区間の地盤反力係数が約 133MN/m<sup>3</sup> の割付区間は、水圧が大きく地盤反力係数も比較的大きいことから、曲げモーメントが大きくなる場合には該当せず、軸力が大きくなる高水位の場合において耐力確認断面を特定する。地盤反力係数が約 60MN/m<sup>3</sup> の割付区間は、水圧が比較的小さく地盤反力係数も比較的小さいことから、曲げモーメントが大きくなる低水位及び軸力が大きくなる高水位の両者を比較して耐力確認断面を特定する。

- ・セグメント厚 700mm を採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑧-1）
- ・セグメント厚 700mm を採用する割付範囲で、断面⑧-1 断面よりも地盤反力係数が小さく、かつ頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑧-3）
- ・セグメント厚 650mm を採用する割付範囲で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑧-2）

特定した耐力確認断面を表 5.8 に示す。

**表 5.8 区間⑧における耐力確認断面**

区間	断面番号	トンネル 外径	セグメント		地盤反力 係数	頂面荷重
			種類	厚さ		
⑧	断面⑧-1	14.0m	RC	700mm	約 133MN/m <sup>3</sup>	約 1352kN/m <sup>2</sup>
	断面⑧-2		RC	650mm	約 60MN/m <sup>3</sup>	約 1061kN/m <sup>2</sup>
	断面⑧-3		RC	700mm	約 60MN/m <sup>3</sup>	約 892kN/m <sup>2</sup>

### 2.2.3 区間⑨（勝川非常口～名古屋市中区丸の内一丁目）

本区間で採用するセグメントは、厚さ 600mm、650mm、700mm の RC セグメントと厚さ 600mm の合成セグメントの 4 種類である。

4 種類のセグメントを採用する割付区間のそれぞれで、頂面荷重と地盤反力係数の組み合わせにより耐力確認断面を特定した。

なお、本区間は水圧が比較的小さく地盤反力係数も比較的小さいことから、曲げモーメントが大きくなる低水位及び軸力が大きくなる高水位の両者を比較して耐力確認断面を特定する。

- ・セグメント厚 700mm の RC セグメントを採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑨-2）
- ・セグメント厚 650mm の RC セグメントを採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑨-5）
- ・セグメント厚 650mm の RC セグメントを採用する割付区間で、断面⑨-5 断面よりも地盤反力係数が小さく、かつ頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑨-1）
- ・セグメント厚 650mm の RC セグメントを採用する割付区間で、断面⑨-1 断面よりも地盤反力係数が小さく、かつ頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑨-3）

- ・セグメント厚 600mm の RC セグメントを採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑨-4）
  - ・セグメント厚 600mm の合成セグメントを採用する割付区間で頂面荷重最大の断面を選定する（断面⑨-6）
- 特定した耐力確認断面を表 5.9 に示す。

**表 5.9 区間⑨における耐力確認断面**

区間	断面番号	トンネル 外径	セグメント		地盤反力 係数	頂面荷重
			種類	厚さ		
⑨	断面⑨-1	14.0m	RC	650mm	約 60MN/m <sup>3</sup>	約 1025kN/m <sup>2</sup>
	断面⑨-2		RC	700mm	約 33MN/m <sup>3</sup>	約 1030kN/m <sup>2</sup>
	断面⑨-3		RC	650mm	約 33MN/m <sup>3</sup>	約 985kN/m <sup>2</sup>
	断面⑨-4		RC	600mm	約 33MN/m <sup>3</sup>	約 1011kN/m <sup>2</sup>
	断面⑨-5		RC	650mm	約 86MN/m <sup>3</sup>	約 1081kN/m <sup>2</sup>
	断面⑨-6		合成	600mm	約 21MN/m <sup>3</sup>	約 1122kN/m <sup>2</sup>

### 3. 耐力確認断面の特定（鋼製セグメント）

鋼製セグメントは、チェックボーリング箇所、又は必要により非常口との接続部において RC セグメント又は合成セグメントの代わりに採用するセグメントであり、トンネル外径は RC セグメント又は合成セグメントと同一とする。

鋼製セグメントの耐力の確認は、RC セグメント又は合成セグメントの耐力確認断面のうち、首都圏および中部圏において頂面荷重と地盤反力係数の組み合わせにより耐力確認断面を抽出し、本事業の事業区域に設置する最大のトンネル外径かつ最小のセグメント厚で耐力を確認した。

特定した断面を表 5.10 に示す。

**表 5.10 鋼製セグメントの耐力確認断面**

	RC セグメント・合成セグメントの 耐力確認断面						鋼製セグメントの耐力 確認断面	
	断面番号	トンネル 外径	セグメント		地盤反力 係数	頂面荷重	セグメント	
			種類	厚さ			種類	厚さ
首都 圏	断面①-1	13.8m	RC	600mm	約 164MN/m <sup>3</sup>	約 1163kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面①-2		RC	500mm	約 100MN/m <sup>3</sup>	約 915kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面①-3		RC	600mm	約 100MN/m <sup>3</sup>	約 1109kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面①-4		RC	550mm	約 100MN/m <sup>3</sup>	約 1035kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面①-5		RC	600mm	約 79MN/m <sup>3</sup>	約 1031kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面②-1	13.7m	RC	500mm	約 79MN/m <sup>3</sup>	約 892kN/m <sup>2</sup>	—	—

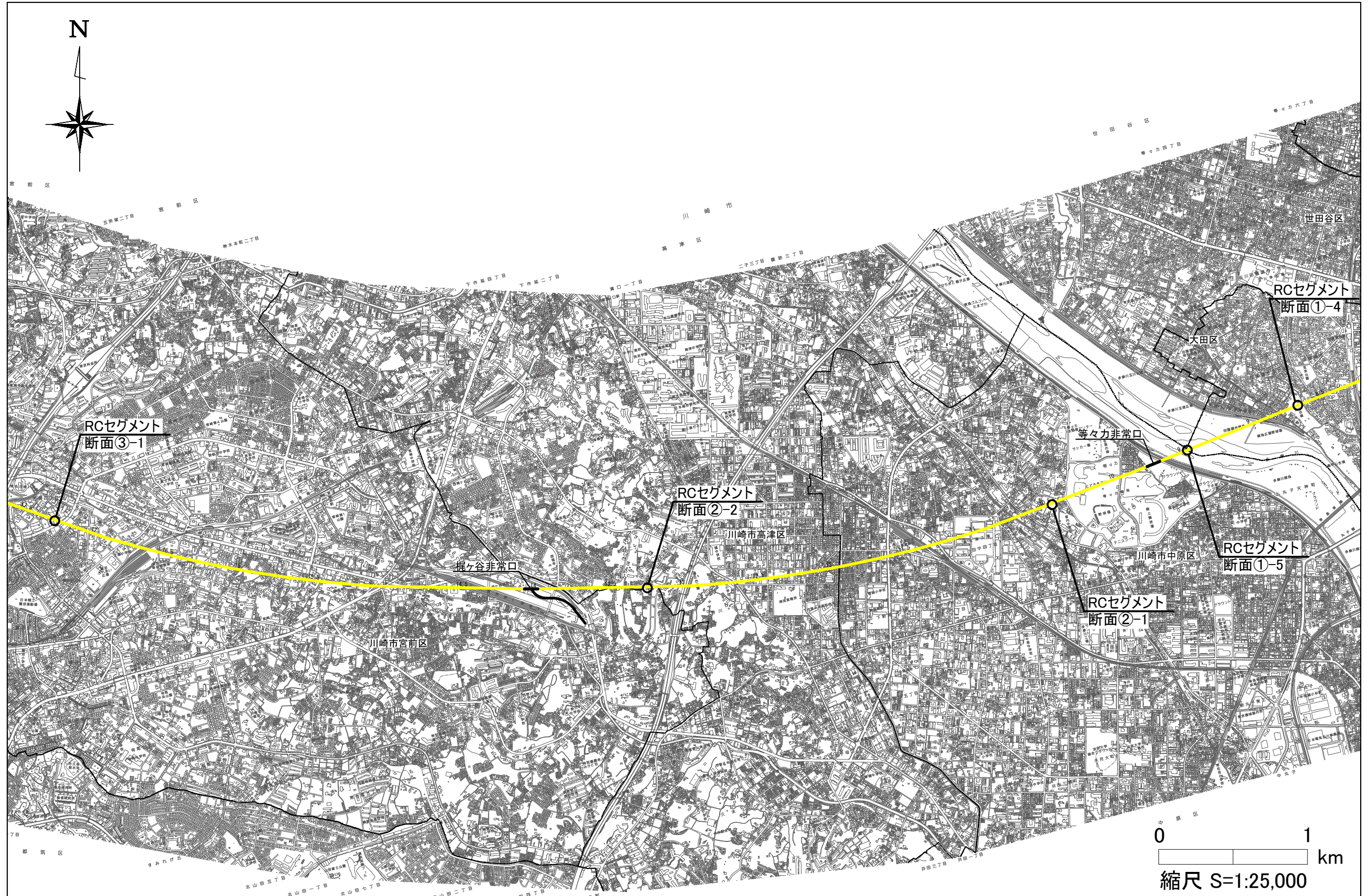


	RC セグメント・合成セグメントの 耐力確認断面						鋼製セグメントの耐力 確認断面	
	断面番号	トンネル 外径	セグメント		地盤反力 係数	頂面荷重	セグメント	
			種類	厚さ			種類	厚さ
首都圏	断面②-2	13.7m	RC	550mm	約 250MN/m <sup>3</sup>	約 1026kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面③-1	13.7m	RC	550mm	約 250MN/m <sup>3</sup>	約 985kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面③-2		RC	500mm	約 129MN/m <sup>3</sup>	約 894kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面③-3		RC	550mm	約 286MN/m <sup>3</sup>	約 1127kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面③-4		合成	500mm	約 285MN/m <sup>3</sup>	約 1217kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面④-1	13.9m	RC	650mm	約 284MN/m <sup>3</sup>	約 1216kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面④-2		RC	550mm	約 283MN/m <sup>3</sup>	約 1018kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面④-3		RC	500mm	約 208MN/m <sup>3</sup>	約 826kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑤-1	13.9m	RC	650mm	約 484MN/m <sup>3</sup>	約 1352kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑤-2		RC	650mm	約 266MN/m <sup>3</sup>	約 1341kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑤-3		RC	600mm	約 265MN/m <sup>3</sup>	約 1149kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑤-4		RC	600mm	約 293MN/m <sup>3</sup>	約 1185kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑥-1	14.0m	RC	600mm	約 292MN/m <sup>3</sup>	約 1115kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑥-2		RC	500mm	約 290MN/m <sup>3</sup>	約 640kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑥-3		RC	700mm	約 151MN/m <sup>3</sup>	約 1386kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑥-4		合成	600mm	約 151MN/m <sup>3</sup>	約 1422kN/m <sup>2</sup>	鋼製	500mm
	断面⑥-5		RC	600mm	約 151MN/m <sup>3</sup>	約 974kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑥-6		RC	600mm	約 333MN/m <sup>3</sup>	約 1127kN/m <sup>2</sup>	—	—
断面⑥-7	RC		600mm	約 273MN/m <sup>3</sup>	約 1101kN/m <sup>2</sup>	—	—	
中部圏	断面⑦-1	13.8m	RC	550mm	約 133MN/m <sup>3</sup>	約 991kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑦-2		RC	600mm	約 134MN/m <sup>3</sup>	約 1017kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑧-1	14.0m	RC	700mm	約 133MN/m <sup>3</sup>	約 1352kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑧-2		RC	650mm	約 60MN/m <sup>3</sup>	約 1061kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑧-3		RC	700mm	約 60MN/m <sup>3</sup>	約 892kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑨-1	14.0m	RC	650mm	約 60MN/m <sup>3</sup>	約 1025kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑨-2		RC	700mm	約 33MN/m <sup>3</sup>	約 1030kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑨-3		RC	650mm	約 33MN/m <sup>3</sup>	約 985kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑨-4		RC	600mm	約 33MN/m <sup>3</sup>	約 1011kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑨-5		RC	650mm	約 86MN/m <sup>3</sup>	約 1081kN/m <sup>2</sup>	—	—
	断面⑨-6		合成	600mm	約 21MN/m <sup>3</sup>	約 1122kN/m <sup>2</sup>	鋼製	500mm

# 計算位置図(首都圏) 1/4



# 計算位置図(首都圏) 2/4



# 計算位置図(首都圏) 3/4



# 計算位置図(首都圏) 4/4

